

編集後記

昨年、栗本まさ子氏が代表理事を退任され、新代表理事に姫田尚氏が就任されました。栗本氏は、長年にわたり乳業技術誌の編集・発行を担われた細野明義編集幹事退任の後、新たな編集方針、編集委員会による形に変更し、編集委員の一人としても企画、編集に尽力されました。改めてお礼を申し上げます。

第73巻からは、新たな編集委員会での乳業技術誌の企画・編集が始まりました。乳業や酪農に関わる技術や科学での重要な課題、ホットな話題などを、関連分野の業界、学界の読者の皆様からタイムリーにお届けできればと思います。引き続き本誌をどうぞ愛読ください。第73巻は、近年の乳業界で関心が高まっている製造・分析技術など、5つの解説・総説を企画しました。株式会社明治の渡邊格氏に、ミルク成分の分離・分画に加えて水の循環利用の観点からも重要視されている膜濾過技術について解説いただき、コーデックスの分析・サンプリング法部会（CCMAS）での乳製品の水分の分析方法の議論と課題について、国立医薬品食品研究所の渡邊敬浩氏と当協会の岩崎司氏にご執筆をお願いしました。酪農乳業に関連する先端的な技術として、北海道大学の小林謙氏

に、培養ミルク生産の基盤技術となる乳腺細胞の培養についてご執筆いただき、また、福島大学の西尾氏には、タンパク質の立体構造解析技術の解説と、実例としてAIとビッグデータを使った牛乳カゼイン複合体の構造予測をお願いしました。さらに、植物性タンパク質に対する消費者意識の高まりという酪農乳業界も避けては通れない社会情勢を鑑み、取って植物由来のミルク様飲料について取り上げました。キッコーマンソイフーズの重山氏と大島氏に、既に大きな市場となっている豆乳を一例にしてプラントベースミルク技術についてご紹介いただきました。読者の皆様からも2つの話題提供をいただきました。誌面を借りてお礼申し上げます。第73巻の発刊にあたり、ご多忙の中、編集委員会からの少々無理なお願いをご快諾いただき、ご執筆くださいました諸氏に、改めて厚くお礼申し上げます。

松田 幹
乳業技術編集委員長
福島大学食農学類教授

ISSN 1341-7878

BULLETIN OF JAPAN DAIRY
TECHNICAL ASSOCIATION

乳業技術 Vol. 73 2023

令和6年3月 日発行

編集兼発行者：公益財団法人日本乳業技術協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目14番19号

TEL 03-3264-1921 FAX 03-3264-1569

E-mail : info@jdta.or.jp http : //www.jdta.or.jp

印刷者：小宮山印刷工業株式会社